

SL ジャパン設立 10 周年記念「特別講演・ユーザ会」開催のご案内

米 SL 社の創立者で CEO の Tom Lubinski 来日、国内ユーザ様による適用事例のご発表も予定

ユーザ皆様のご支援を賜り、お陰様で SL ジャパンは6月に設立10周年を迎えることができました。つきましては、米 SL 社の創立者で SL-GMS ならびに Enterprise RTView 製品を生み出した Tom Lubinski 来日による「特別講演・ユーザ会」を、開催させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。本会では、国内ユーザ様による適用事例のご発表も予定しております。また懇親会では、これまで SL 社の技術に多大なご支援いただきました皆様に、Tom Lubinski とともにお礼申し上げたく、またご要望やご意見などを直接お聞きできればと願っております。ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日時： 2008 年 9 月 11 日 (木) 13:30-19:00 受付開始 13:00～ 懇親会 17:00～
場所： ホテルフロラシオン青山 (東京メトロ・表参道駅 A 4 出口より徒歩 6 分)
参加費： 無料 (お申し込み方法をご参照ください)

プログラム内容 (一部変更される場合もございます)

13:30～17:00

●お礼のごあいさつ

株式会社 SL ジャパン 代表取締役社長 羽島 良重

SL 社の技術と導入事例の変遷を、1991 年 (国内創業) に遡って、ハイライトでご紹介します。

●特別講演「BAM：エンタープライズにおけるプロセス制御」(逐次通訳を予定しております)

米 SL 本社 プレジデント & CEO Tom Lubinski

リアルタイムな情報の本質が時代とともに進化してきたのに伴い、データの解析と可視化の要求条件は、複雑化かつ高度化しています。エンタープライズ IT では新しい BAM (ビジネス・アクティビティ監視) ですが、SL 社が長年専門としてきた監視制御システムの世界では、20 年以上も前の昔から当然のように行われてきました。本講演では、プロセス制御の可視化におけるリアルタイム・データの操作・処理技法をレビューしながら、いかに今日の複雑で多次元のエンタープライズ環境における効果的な BAM (BSM ならびにインフラ監視を含む) の実現に適用できるかを解説していきます：

データソースの性質、画面のパラメータ化、リアルタイム・データの永続化、インメモリ・キャッシュ、ヒストリアン、データの集約と内訳 (統計) 表示といった、可視化と監視の主要な技法における、従来の監視制御システムとエンタープライズ BAM の同異点について

1983 年に SL 社を創立して以来、業界をリードする可視化と監視ソフトウェア技術を生み出して来た Tom Lubinski ならではの講演内容に、ご期待ください。

国内ユーザ様による適用事例のご紹介：

●株式会社 明電舎 様

「監視制御システム (DCS) における .NET ベースの SL 社 GUI とカスタム・エディタ技術の適用」

●東芝プラントシステム株式会社 様

「Web 運用の工場設備監視システムへの SL-GMS J/Developer (Java) 適用」

●SL 社ソフトウェア最新技術のデモンストレーション：

Enterprise RTView, SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET

17:00～19:00 懇親会



お申し込み方法

- Newsletter 返信用ファックスまたはホームページ www.sl-j.co.jp から
- または、下記内容をメールで seminar@sl-j.co.jp まで：
9/11 参加申込／会社名／ご所属／お名前／ご住所／お電話番号／メール・アドレス／①②または③ー
①ユーザ企業様、②評価・検討中のお客様、③その他、協力会社様など (お客様について、いずれかをご指定ください)
- または、弊社の担当営業より承ります。

折り返し、弊社よりメールにて「参加確認書」をお送りいたします。

お問い合わせは、seminar@sl-j.co.jp または電話 03-3423-6051 「特別講演・ユーザ会係り」までお願いいたします。

統合ソリューションが取引の意思決定とスピード、的確性、安全性を強化

2008年5月28日 カリフォルニア州ダブリン発プレス・リリースより

業界先進のエンタープライズ・インフラストラクチャおよびモバイル・ソフトウェア企業である米国サイベース社 (NYSE: SY) は、米国 SL 社との提携を発表しました。リアルタイムな監視、解析と可視化ソフトウェアの提供でリードする米国 SL 社との提携により、取引の新旧データを高度にカスタマイズして表示するソリューションを、金融サービス業界に提供します。サイベースが最近発表した次世代型市場データ分析プラットフォームの RAP - The Trading Edition™ と SL 社のビジネス・アクティビティ監視 (BAM) プラットフォームである RTView を統合したソリューションにより、リスクマネージャと計量アナリストはタイムリーに市場全体を把握でき、リスクを抑制しながら的確な取引とポートフォリオの意思決定が行えます。

急速に変化する現在の金融サービス業界では、キャピタルマーケット企業は取引の意思決定のスピードと的確性、安全性への増大するニーズに対応すると同時に、急増する市場データを短時間で処理することが求められています。計量アナリストは市場機会をすばやく特定し、リスクマネージャはリアルタイムでリスクを測定しなければならないため、瞬時的に的確な意思決定をサポートする取引システムへのニーズも増大します。その結果、キャピタルマーケット企業には過去の大量データとストリーミングによるリアルタイムの市場/リスクデータの両方を単一のビューに表示できる対話式的表示機能を備えたソリューションが必要になります。

RAP-Trading Edition と RTView は連携が認証されているため、お客様はすぐに利用して成果を出すことが可能になります。このソリューションでは過去 (履歴) の膨大な量の取引データとリスクデータだけでなく、リアルタイムのデータフィードと複合イベント処理 (CEP) のストリームを統合できます。取引のライフサイクル全般でリアルタイムのデータと過去の履歴データを高度なカスタマイズによって完全に表示できるため、計量アナリストとリスクマネージャはこれまでにないほど明確に運用状況を把握できます。



取引価格の集約画面では、リアルタイムな市場データを履歴データの傾向に対して比較する計量的解析が行えます。



移動平均ラインチャートのダッシュボードでは、リスクマネージャが20種類のカラーコードによるマーケット・アクティビティの傾向を同時に比較することができます。

SL-GMS Developer for .NET における Web 運用

ブラウザ・サンプルと Web サービス・サンプルでその開発を支援

SL-GMS Developer for .NET には、他の SL-GMS 開発ツール製品と同様、各種機能の具体的な使い方を示すサンプルと解説が多数提供されており、それらを実際のアプリケーション開発で活用していただけるようになっています。SL-GMS Developer for .NET の場合、多くのユーザ様は Web ブラウザによる運用を目的とされており、Web ブラウザとサービス・サンプルによってその開発を支援しています。

「ブラウザ・サンプル」は、SL-GMS Developer for .NET で作成したアプリケーションを、どのように Web ブラウザで実行するかを実際のサンプル・プログラムとその解説書によって、具体的に示すものです。Web サービスからのデータ取得などのブラウザ運用で共通の技法についても実演し、SL-GMS のストリーム・コンポーネント機能を使って、Web サーバから SL-GMS 画面モデルとデータ・ファイルをロードします。

サンプル・アプリケーション画面は、SL-GMS の .NET ビューワー・コントロールを使ったバルブ・モデルと Microsoft .NET コントロールであるボタン、ラベル、スクロールバーなどで構成されており、そのデータはプロキシを通して Web サービスから取得します。Web サービスは、データの生成ならびにアプリケーションによるデータ検索を制御する数々の操作をサポートします。そして、SL-GMS のストリーム・コンポーネントを使って、SL-GMS モデルとデータ・ファイルを Web サーバから検索します。



バルブ・モデルを表示する Web ブラウザ・サンプル

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30 エイベックスビル 3階
Tel. 03-3423-6051 Fax. 03-3423-6070 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2008年8月25日発行 通巻31号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。